

奈良県の観光課題について

2025/07/18

奈良県が抱える観光課題

【現状】

- ①観光客数：一定数来ている
- ②インバウンド：**全国トップクラス**

【課題】

- ③観光消費額：**非常に少ない**
- ④宿泊客数：**非常に少ない**
- ⑤観光客が**奈良公園周辺に集中**

出典：奈良県「観光客動態調査」

観光庁「共通基準による観光入込客統計」

【現状】①観光客数：一定数来ている

- ・観光入込客数 全国19位(令和元年:4,502万人)
- ・コロナ禍前まで、年々増加



全国順位 **28位/44** **29位/44** **26位/43** **25位/44** **24位/40** **20位/36** **19位/32** **15位/30** **13位/31**

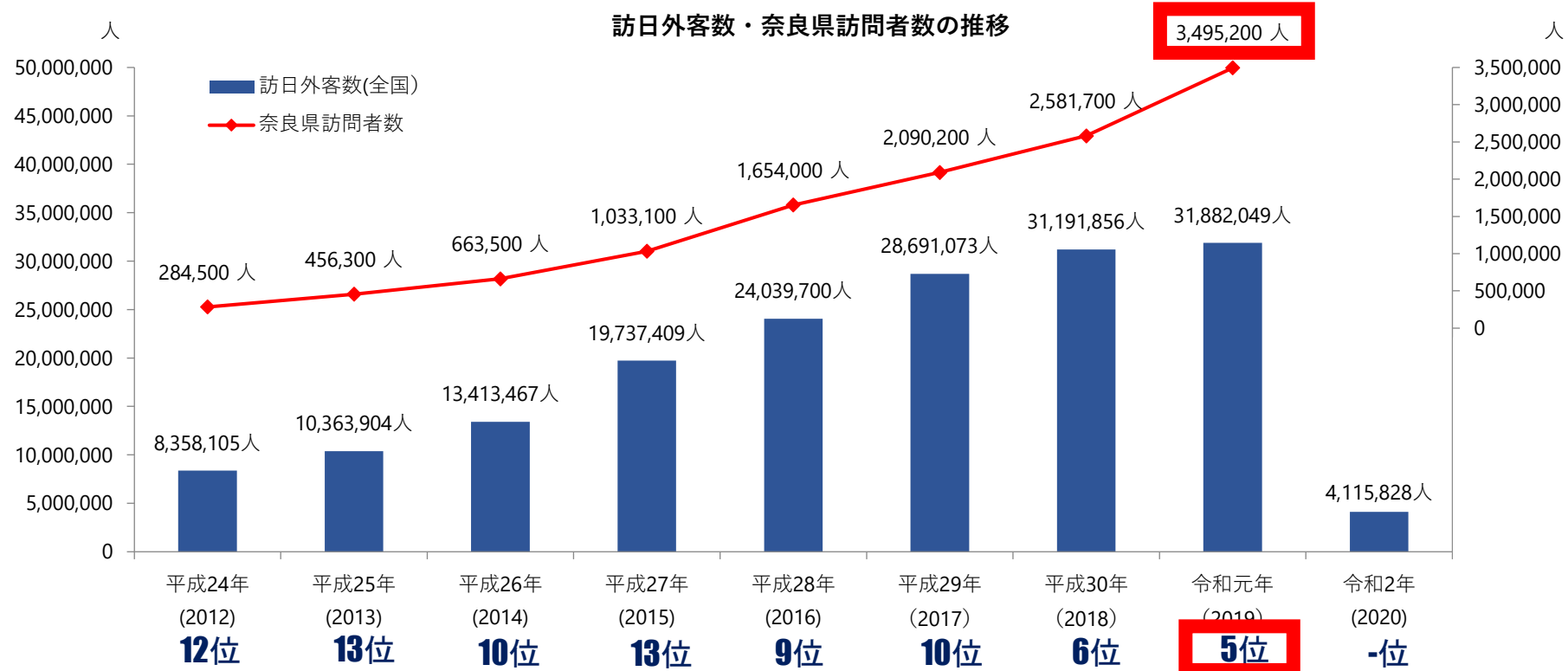
(公表済み都道府県数(令和5年8月31日時点) H25:44、H26:44、H27:43、H28:44、H29:40、H30:36、R元:32、R2:30、R3:31

【現状】②インバウンド：全国トップクラス

出典：JNTO(日本政府観光局)「訪日外客数」
観光庁「訪日外国人消費動向調査」

・インバウンド数：全国5位(令和元年：350万人)

※2位 大阪、4位 京都



※令和2年4月～令和5年6月は調査中止のため不明

【課題】③観光消費額：非常に少ない

出典：観光庁「共通基準による観光入込客統計調査」

- ・毎年、全国平均と 大きな開き（奈良県 5,308円、全国平均 9,931円）
- ・宿泊客、日帰り客も、ともに 大きな開き

1人あたり観光消費額

（単位：円）

		計	順位	宿泊客	順位	日帰り客	順位
奈良県	令和3年	5,308	29位/31	23,394	26位/31	3,483	23位/31
	令和2年	4,910	30位/30	23,211	28位/30	3,217	27位/30
	令和元年	6,606	29位/32	24,807	25位/32	4,569	25位/32
全国平均	令和3年	9,931	-	27,532	-	5,581	-
	令和2年	10,575	-	29,216	-	5,849	-
	令和元年	11,837	-	30,591	-	5,874	-

※上記の数字には、東京・大阪・京都・沖縄等が含まれておらず、実際はさらなる開きがあると推察される。

【課題】③観光消費額：非常に少ない

出典：：奈良県「観光客動態調査」

- ・宿泊費、土産代、飲食費ともに、伸びしろが がある
- ・その他(体験・アクティビティ含む)は、ほとんど消費がない

1人あたり観光消費額 内訳

宿泊客

(単位：円)

	6ヶ年平均 (H28～R3)	割合
合計	24,767	-
交通費	1,510	6.1%
宿泊費	12,958	52.3%
土産代	3,605	14.6%
飲食費	4,968	20.1%
入場料	1,316	5.3%
その他	411	1.7%

日帰り客

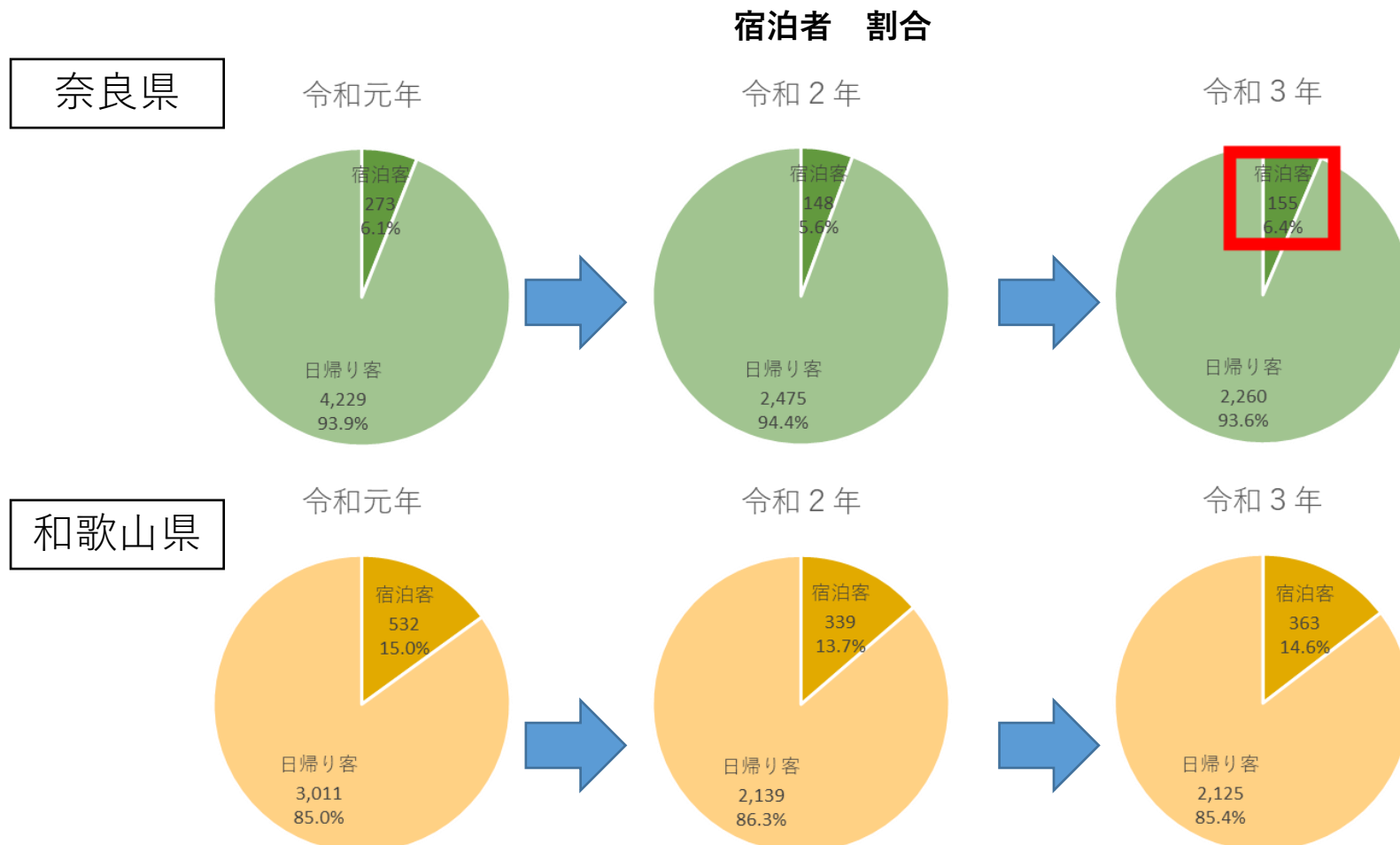
(単位：円)

	6ヶ年平均 (H28～R3)	割合
合計	4,223	-
交通費	621	14.7%
宿泊費	-	-
土産代	1,156	27.4%
飲食費	1,344	31.8%
入場料	369	8.7%
その他	732	17.3%

【課題】④宿泊客数：非常に少ない

・観光客全体に占める宿泊者の割合：約6%

＊和歌山県の半分以下の宿泊者数と割合



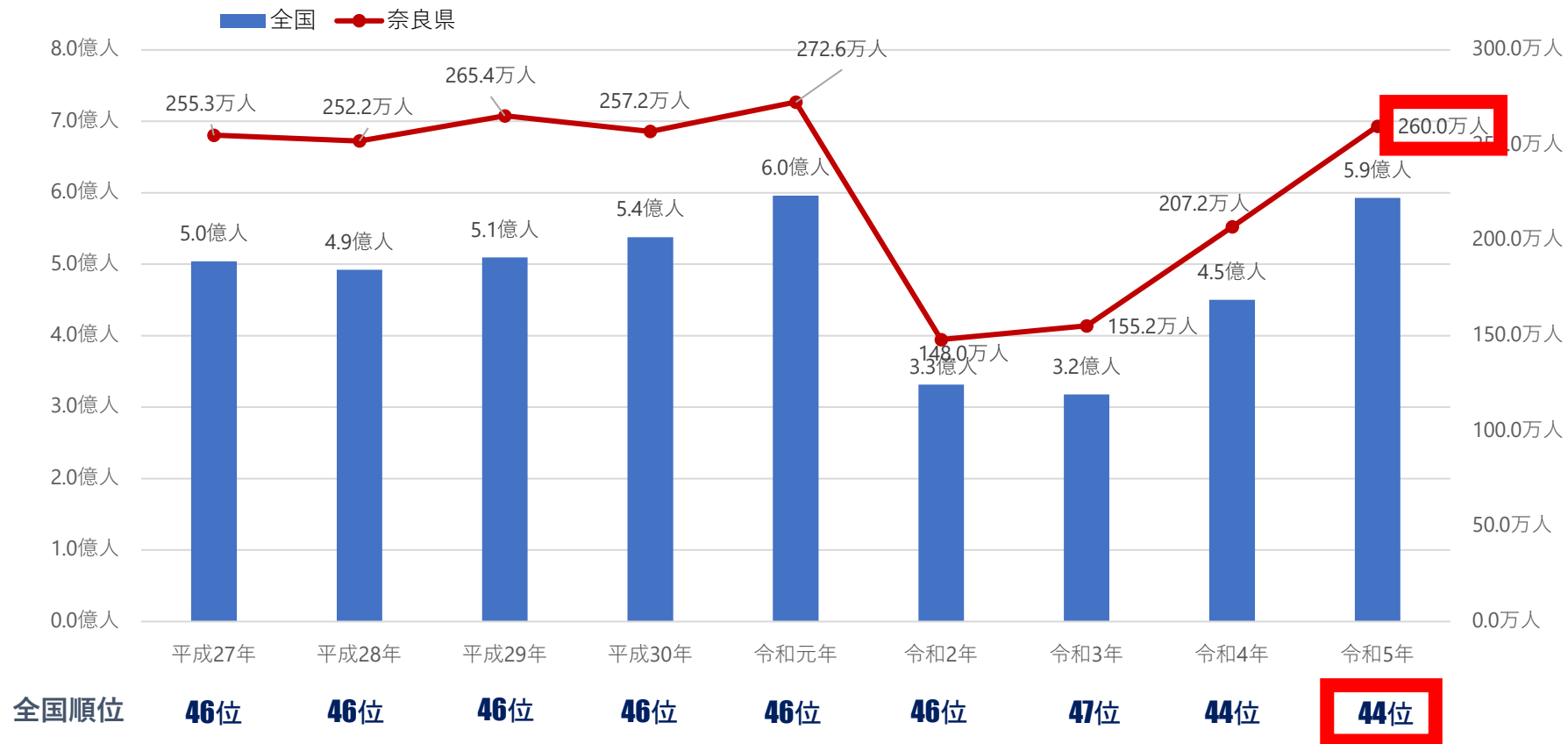
【課題】④宿泊客数：非常に少ない

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

・宿泊者数、全国44位(令和5年:260万人)

＊他の下位都道府県：鳥取県、徳島県、佐賀県

延べ宿泊者数

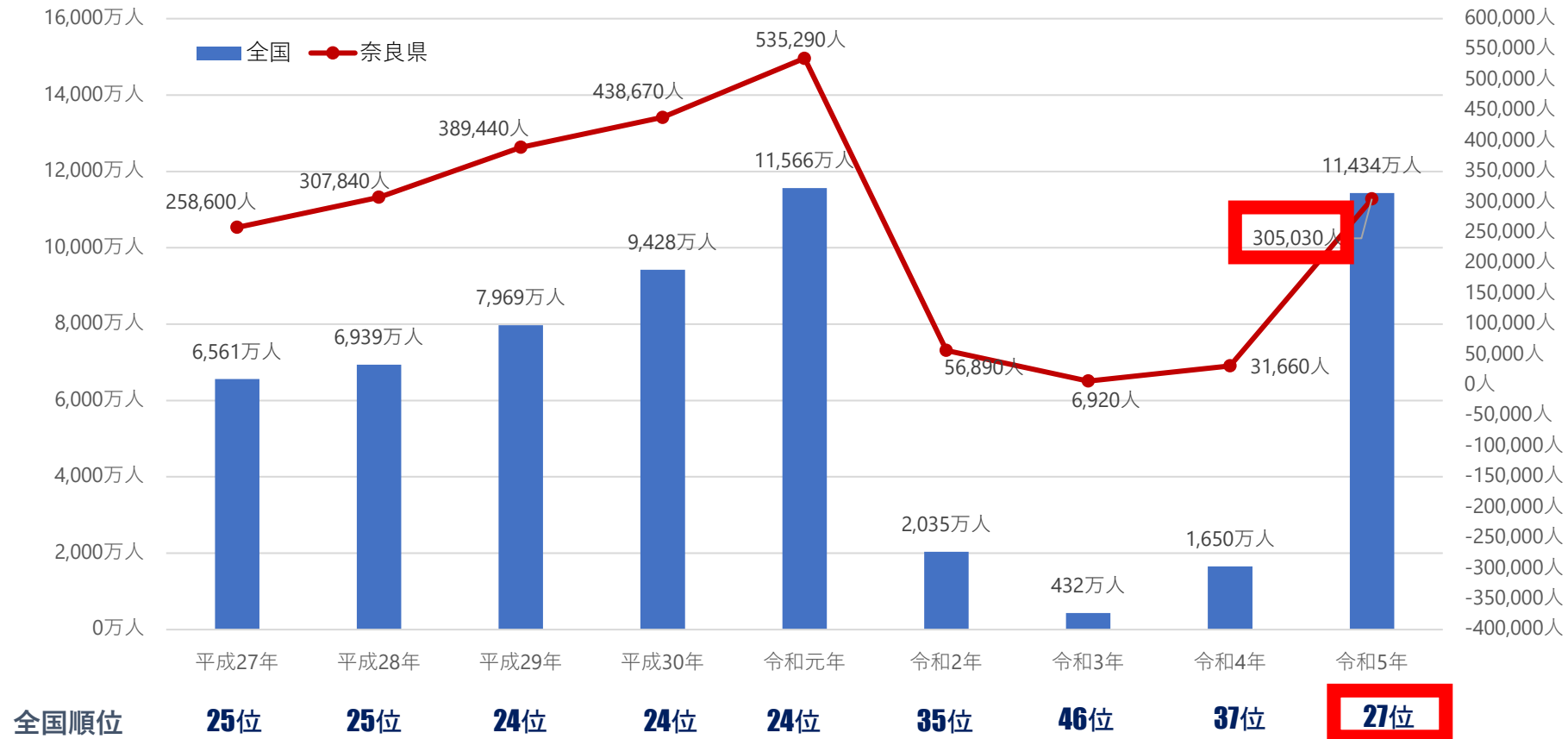


【課題】④宿泊客数：非常に少ない

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・外国人宿泊者数、全国27位(令和5年:30.5万人)
- ・訪問者数は全国5位(令和元年) ⇒ 大きな乖離

外国人延べ宿泊者数

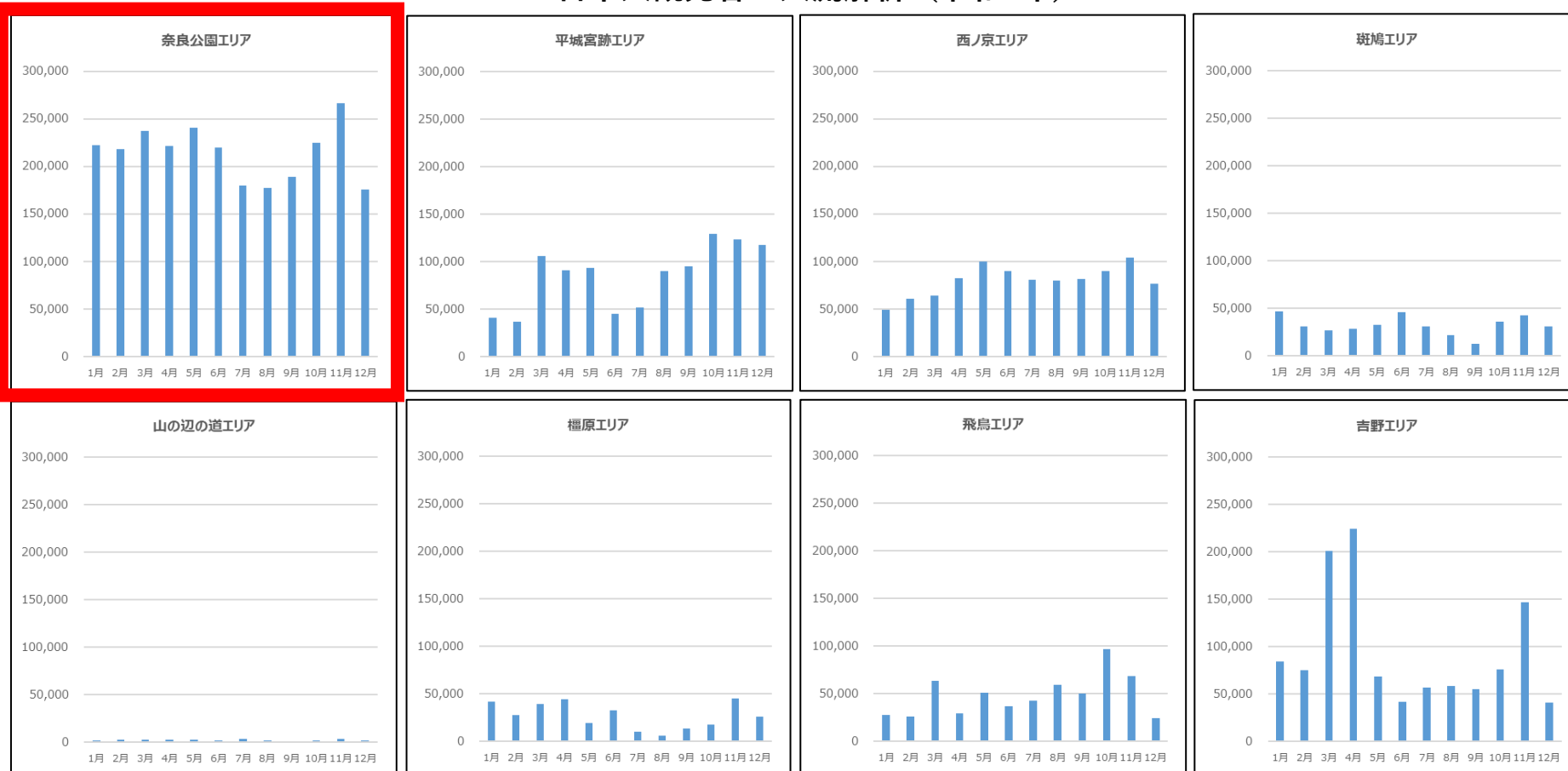


出典：奈良県観光データ「見える化」推進事業
実施結果報告書
データ提供：株式会社データワイズ

【課題】⑤観光客が奈良公園周辺に集中

- ・年間を通じて、奈良公園エリアに集中
- ・吉野エリアは 3月、4月の桜の時期に集中

日本人観光客 人流解析（令和5年）



出典：奈良県観光データ「見える化」推進事業
実施結果報告書
データ提供：「Japan Travel by Navitime」のGPS

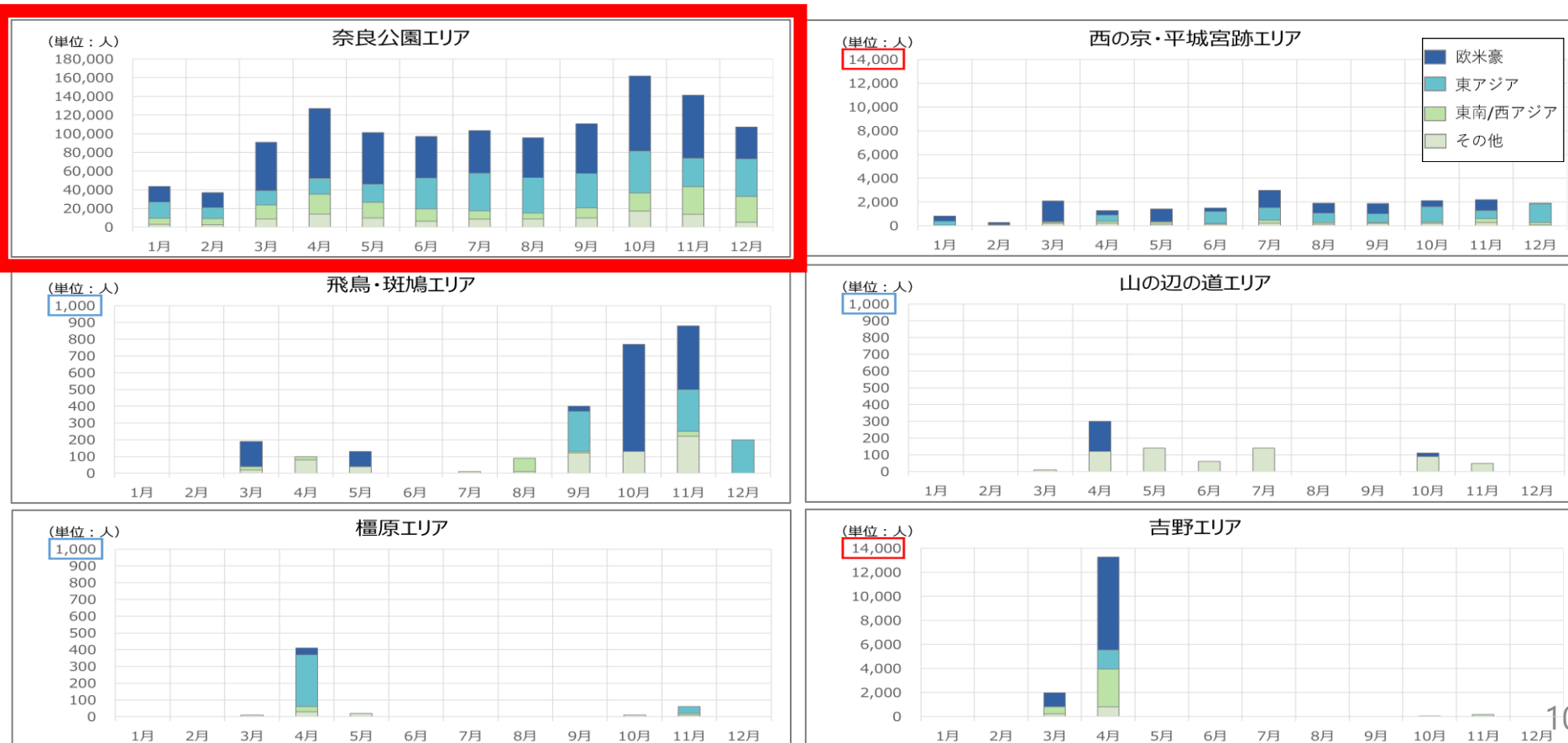
【課題】⑤観光客が奈良公園周辺に集中

・インバウンドも 奈良公園エリアに集中

*各エリアと比べ、100倍以上の来訪者が集中している状態

インバウンド 人流解析（令和5年）

※エリアによって左軸の目盛線の数値が違うことに留意



結 論

現在の奈良の観光は

安い

(観光消費額が少ない)

浅い

(滞在時間が短く、深い魅力を知ってもらえていない)

狭い

(奈良公園周辺に集中)

1. 近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア部会

1. エリアの現状

- ・奈良県を代表する観光地として、世界遺産や優れた自然景観が集まるエリアでインバウンド旅行者・修学旅行生をはじめとした観光客が多く来訪。
- ・滞在時間が短く、宿泊客数の増加や観光消費額の増大が課題であり、近年、交通渋滞やゴミ問題が顕在化。

2. 部会の開催状況

○令和6年6月14日：第一回部会

奈良公園周辺の現状の問題点と将来のあるべき姿について意見交換。

○令和6年9月3日～26日：個別ヒアリング

第1回部会で提起された課題をもとに「観光消費額と宿泊者数の引き上げ」のために必要な具体的な取組内容について委員へ個別ヒアリングを実施。

○令和6年10月31日：第二回部会

個別ヒアリングを踏まえて事務局で検討中の具体的な施策について、意見交換。

【近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア部会委員】

氏名	役職等
江口 英一	観光経済新聞社 kankokeizai.com 編集長
大久保 泰佑	(株)narrative 代表取締役
金田 充史	げすとはうす はる・きたまち オーナー
川島 昭彦	登大路ホテル奈良 代表取締役社長
高橋 一	(公社)奈良市観光協会 専務理事
豊澤 孝彦	奈良豊澤酒造(株) 社長
中野 聖子	ホテル尾花 代表取締役社長
西岡 正人	レストランテ リンコントロール オーナーシェフ
平井 宗助	合同会社ほうせき箱 代表社員
藤丸 正明	(株)地域活性局 代表

3. 課題及び委員からの主な意見と考えられる施策の方向性

⇒別紙1-1～1-4のとおり

4. 今後の部会の進め方

令和6年度：方向性を踏まえた事業検討を行うとともに、観光庁補助を活用した実証実験を実施。

引き続き、委員から意見・助言をいただき、施策・取組のブラッシュアップ。

令和7年度～：委員との意見交換を継続しながら、施策・取組のブラッシュアップ。

課題及び委員からの主な意見と考えられる施策の方向性

別紙 1 - 1

課題及び主な意見	考えられる施策の方向性
1. プロモーション・情報発信 【第一回部会及び個別ヒアリングを踏まえた課題】 ➤ マスコミやWebサイト（OTA含む）での全国的な情報展開が不十分。 ➤ インバウンドが必要としている情報が提供できていない。 ➤ ターゲット層に応じたプロモーションができていない。 ➤ 「売り方」に精通した人材が育成されていない。 【第二回部会の主な意見】 ✓ OTAサイトを活用した広報キャンペーンはしっかりと進めるべき、エクスペディアは特に日本に着目している。 ✓ 消費額を増やす方法として、OTAを活用した「アクセス人数」の引き上げが有効。 ✓ 飲食店の情報を発信する際は、ターゲット層を意識して、情報をカテゴライズして届けるべき（ハイエンド層を対象としたレベルの高いバーのマップ等）。	◆観光データ分析に基づく重点ターゲット・ペルソナの明確化と重点ターゲット・ペルソナに訴求効果の高いメディアの活用 …媒体掲載やファミトリップの実施など ◆OTA(オンライン・トラベル・エージェント)を活用した、国内・海外向け広報キャンペーンの実施 ◆鉄道事業者（連携協定を締結したJR東海・JR西日本・近鉄）との連携による情報発信・プロモーション

課題及び委員からの主な意見と考えられる施策の方向性

別紙 1 - 2

課題及び主な意見	考えられる施策の方向性
2. 観光コンテンツ（体験など）・販路構築 【第一回部会及び個別ヒアリングを踏まえた課題】 ➤ 既存の体験プログラムについて、十分に認知されていない。 ➤ 宿泊施設と観光施設の間の連携が十分ではない。 【第二回部会の主な意見】 ✓ 音楽に関して洗練された地域になりつつある奈良では、音楽をからめたパッケージや仕掛けなどをつくっていくのも面白い。 ✓ 消費額を増やす方法として、ナイトミュージアム等のナイトコンテンツの拡充による「転換率※」の引き上げが有効（※アクセスから実際の旅行・宿泊につながった率）。	◆博物館・美術館の夜間開館（ナイトミュージアム）の拡大とともに、音楽やバー等を組み入れたコンテンツの造成 …博物館等の金曜・土曜の開館延長とともに、近隣の店舗と連携した音楽・飲食に係る有料の特別企画など

課題及び委員からの主な意見と考えられる施策の方向性

別紙 1 - 3

課題及び主な意見	考えられる施策の方向性
3. 宿泊・飲食・お土産 【第一回部会及び個別ヒアリングを踏まえた課題】 ➤ 宿泊することで体験できるコンテンツの整理やプロデュースができていない。 ➤ 宿泊施設と観光施設間の連携が十分でない。（再掲） 【第二回部会の主な意見】 ✓ ホテル滞在自体が旅の目的となるような魅力的で特色のある宿泊施設が増えていくと、泊まって観光する場所として選ばれるようになっていくのでは。 ✓ 今後、宿泊施設を増やしていく上で、ボトルネックは人的資源。優秀な人材を確保しつつけるために、人材に着目した支援があっても良いのでは。	◆ 宿泊施設の誘致・改修に対する支援 …立地・改修補助金や制度融資の更なる充実、首都圏等での誘致セミナーの開催など ◆ 宿泊施設との連携によるコンテンツ造成や活用 …宿泊者が体験できる既存コンテンツのPRやブラッシュアップ・旅行商品の造成、新規コンテンツの造成など

課題及び委員からの主な意見と考えられる施策の方向性

別紙 1 - 4

課題及び主な意見	考えられる施策の方向性
4. 受入環境整備（交通手段、Wi-Fi環境、キャッシュレス決済、多言語対応等） 【第一回部会及び個別ヒアリングを踏まえた課題】 ➤ 安心して子供を連れてくることができる環境整備が必要。 ➤ 県の施設の更なる有効活用が必要。 ➤ 奈良公園らしい環境の維持とイベント会場としての活用の両立。 【第二回部会の主な意見】 ✓ インバウンドに付加価値の高い体験をしてもらうのに奈良公園バスターミナルは適切な場所。酒や茶を楽しめる空間が奈良公園バスターミナルにできれば、非常に価値がある。 ✓ 議論の余地はあるが、まずは奈良公園にゴミ箱の設置を検討すべきかと思う。	◆奈良公園バスターミナルの更なる利活用 …バスターミナル内に奈良の地酒や茶を楽しめる空間の造成など ◆奈良公園周辺でのごみ対策の推進 …観光庁補助事業を活用した実証実験及びそれを踏まえた対策など